

## (3) 漁業人材

## プロジェクト 漁業者の確保・育成

## 目標

・沿岸漁業における新規漁業就業者数 R4：10人 → R10：15人

## 挑戦する内容

- ・新規漁業就業者を受け入れる漁業者への支援
- ・漁業就業希望者への支援
- ・新規漁業就業者への支援

関係者の声  
＝対話

- ・漁業の担い手を確保し、漁業生産量の維持が必要（市町村）
- ・漁業における周年雇用の求人が少ない、未経験で就業するのは不安（漁業就業希望者）
- ・後継者のいない漁業者に新規就業希望者を紹介し、育成させる仕組みが必要（漁業者）
- ・若者（高校生）や子どもに漁業の面白味などを普及する機会が必要（漁業者）

## 役割分担

- ・漁業者：支援プログラムの検討、就業希望者や体験希望者の受入れ
- ・県漁連：新規漁業就業者や受け入れる漁業者等への支援
- ・市町村：新規漁業就業者や受け入れる漁業者等への支援
- ・県：新規漁業就業者や受け入れる漁業者等への支援、漁業の魅力発信、連絡調整

## 変革後の姿

- ・地域内外からの新規就業者の確保により、漁業を含む地域産業が活性化
- ・漁業への具体的な就業イメージが膨らみ、新規漁業就業者が増加

## 令和8年度計画

## 挑戦する内容

- 1 新規漁業就業者を受け入れる漁業者への支援
  - ・新規漁業就業者の受入先の漁業者の掘り起こし
  - ・漁業者による県ホームページへの求人票掲載や漁業就業支援フェアへの出展の支援
- 2 漁業就業希望者への支援
  - ・インターネットを活用した漁業の魅力の発信
  - ・就業支援フェア等における情報発信や就業支援（2回）
- 3 新規漁業就業者への支援
  - ・新規漁業就業者を対象とした育成研修「賓陽塾」の開講（1回）



賓陽塾でのロープワーク

## 対話

- ・部会を開催し、プロジェクトの進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）
- ・就業支援フェア等において、漁業就業希望者の要望等を把握（随時）
- ・各地域でのヒアリングにおいて、新規漁業就業者の受入先の掘り起こしや、担い手育成における課題等の把握を行う（4回）